

伊勢市議会のICT化について

【基本的な考え】

- 1 市民へ最新の議会情報をわかりやすく提供する。
- 2 市民が市議会へ参画しやすい環境を整備する。
- 3 ICTを活用した議会活動、議会運営を図る。
- 4 事務の合理化・効率化を図る。

【具体的内容】

1 市民へ最新の議会情報をわかりやすく提供する

○ホームページ関連

- ・政務活動費の領収書等のインターネット公開
- ・視察・研修結果（概要・所感）のインターネット公開

○SNS（ソーシャルネットワークサービス）関連

- ・インターネット上で即時性のある情報提供の検討

○議会中継関連

- ・インターネットを利用した本会議、委員会の動画配信の実施内容の検討

2 市民が市議会へ参画しやすい環境整備

○ホームページ関連

- ・簡単な議会アンケートシステムの整備

3 ICTを活用した議会活動、議会運営を図る

○庁舎改修に伴うICT化の推進

- ・w i - f i の整備（整備予定）
- ・議場内に投影機と大型スクリーンの設置（設置予定）

○タブレット関連

- ・タブレットを利用した災害時の情報収集

4 事務の合理化・効率化を図る

○タブレット関連

- ・議会関係資料（議案・委員会資料など）及び行政関係資料（予算書、各種計画など）のペーパーレス化
- ・会議通知、執行部からの案内等のペーパーレス化

伊勢市議会のICTの現状と今後の検討事項(案)

項目	現状	具体的検討内容（課題）	備考
政務活動費の領収書等のインターネット公開	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ホームページ上で収支報告書、支出内訳を掲載している。 ・三重県議会等、他の議会が実施検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領収書の公開を行うか検討する。 ・各派代表者会議で議論すべきか。 	
会派視察・研修結果（概要・所感）のインターネット公開	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ホームページ上で会派視察等の結果の公開はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開を行うか検討する。 ・報告書の様式の統一化が必要。 ・各派代表者会議で議論すべきか。 	
簡単な議会アンケートシステムの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ホームページにない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容を検討する。 ・集めたアンケートの活用方法（広報広聴の仕組み）。 ・広聴分科会との協議も必要。 	
インターネット上で即時性のある情報提供の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信情報の範囲の検討。 ・リアルタイムでの情報発信が求められる。 ・SNS（フェイスブック、ツイッター等）での質問等への即時の回答対応が必要なため、常時監視が必要。 	
インターネットを利用した本会議、委員会の動画配信の実施内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、インターネットは配信していない。 ・庁舎改修において、動画配信の環境は整備される。 ・庁舎改修後、委員会室に固定カメラを設置予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信の方法、配信対象とする会議を検討する。 	
タブレットを利用した災害時の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されていない（紙媒体、FAX）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を検討する場合、使用目的、使用場所、費用等を検討する。 ・導入経費がかかり費用対効果に課題。 ・すべての議員が活用できるのか。 	
議会関係資料（議案・委員会資料など）及び行政関係資料（予算書、各種計画など）のペーパーレス化	<ul style="list-style-type: none"> ・導入していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を検討する場合、使用目的、使用場所、費用等を検討する。 ・多額の初期投資で費用対効果に課題。 ・すべての議員が活用できるのか。 ・執行部と共同して行わないと効果が薄い。 	